

## リコール検討会概要

### 1. 開催目的

自動車のリコールについて多角的な視点から議論を行うことにより課題を明らかにし、必要に応じて制度や運用の改善を検討する。

### 2. 開催経緯

第1回会議を平成19年8月1日に開催。

検討課題を以下の4つに整理し、平成19年度は主に①、②について検討することとし、平成20年3月19日に開催した第4回会議で平成19年度のとりまとめを行った。

- ①リコールに対する正しい理解の普及
- ②自動車の不具合に係るユーザーへの情報提供の充実と不具合発生からリコールに至る過程の透明性の確保
- ③リコールに至る自動車の不具合の発生原因の分析と削減方策
- ④使用過程の自動車の安全の確保及び環境保全のためにメーカーが担うべき役割の明確化

平成20年度は主に③と④について検討を行っており、平成21年3月にとりまとめを行う予定。

### 3. 事故・火災情報の公表との関係

今回の事故・火災情報の公表は、リコール検討会の平成19年度のとりまとめにおける以下の提言を踏まえて実施するものである。

#### 平成19年度リコール検討会とりまとめ（抜粋）

#### 3. 自動車ユーザーへの情報提供の充実について

##### (1) 情報提供の充実の必要性

不具合による事故等の発生をより確実に回避するためには、リコールの確実な実施の一方で、不具合に対するユーザーの関心を高めるとともに、警告灯の点灯やエンジンからの異音の発生といった不具合への対応について、より具体的に分かりやすくユーザーに情報提供することが必要である。

##### (2) 自動車の不具合に対するユーザーの関心を高めるための情報提供について

###### ②改善の方向性

自動車の不具合が原因と疑われる事故や火災としてメーカーが国土交通省に報告した情報について、国土交通省は公表すべきである。

## リコール検討会委員名簿

(敬称略・五十音順)

石田 富男	(社)日本自動車整備振興会連合会理事
磯村 浩子	(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 消費生活研究所長
井出 廣久	(社)全日本トラック協会交通・環境部長
井上 修	(社)日本自動車タイヤ協会技術委員会委員長
岩貞 るみこ	自動車ジャーナリスト
大庭 松雄	日本自動車輸入組合参与
大橋 徹郎	(独)交通安全環境研究所理事長
鎌田 実	東京大学大学院工学系研究科教授
郷原 信郎	桐蔭横浜大学法科大学院教授
新家 雅隆	(社)日本産業車両協会フォークリフト技術委員会 基準認証対応ワーキンググループ主査
高橋 武秀	(社)日本自動車部品工業会副会長・専務理事
富田 征弘	(社)日本バス協会技術部長
中山 寛治	(社)日本自動車工業会常務理事
橋本 茂	(社)日本自動車車体工業会専務理事
(座長) 畑村 洋太郎	工学院大学グローバルエンジニアリング学部教授
廣瀬 久和	東京大学大学院法学政治学研究科教授
福尾 幸一	(社)日本自動車工業会技術管理委員会 リコール制度検討会主査
保田 眞紀子	弁護士
横野 茂樹	(社)日本自動車連盟交通環境部長
吉川 暢宏	東京大学生産技術研究所教授